

第68回 宇部市廃棄物減量等推進審議会議事録

・日時 令和5年8月2日(水) 13時30分から 14時40分

・場所 宇部市役所 3階 会議室(3-4)

・出席委員

(会長)	樋口隆哉	伊藤哲夫
	新谷弘昌	小島桂一
	岸下明子	熊切泉
(副会長)	中野陽一	田辺のぶか
	丹史志	山中直美
	大城真吾	阿部正和
	山本紀子	乃木康子

・欠席委員

田中康司	隅田典代
木原裕子	菅野弥生

・事務局

市民環境部次長	村岡和弘
廃棄物対策課長	中村隆行
廃棄物対策課副課長	谷崎日出夫
環境保全センター施設課長	正木弘
環境保全センター施設課ごみ焼却係長	前田敏
廃棄物対策課ごみ減量推進係長	川口修平
廃棄物対策課ごみ減量推進係主任	厚東庸介
廃棄物対策課ごみ減量推進係主任	西村純一

・資料

- 資料1-1 令和4年度総括表
- 資料1-2 令和4年度ごみ排出量グラフ
- 資料2 令和4年度の事業報告
- 資料3 令和5年度の主な事業について

・次第・議事録

- 1 市民環境部長あいさつ(市民環境部次長代理)
- 2 宇部市廃棄物減量等推進審議会会長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 本市のごみの現状について
 - (2) 令和4年度の事業報告について
 - (3) 令和5年度の主な事業について
 - (4) その他

会長	では本日の議題（１）「本市のごみの現状について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料１－１】「令和４年度総括表」説明 【資料１－２】「令和４年度ごみ排出量グラフ」説明
会長	【資料１－１】「令和４年度総括表」について、令和４年度の埋立地の直搬ごみ排出量が増えている要因はあるか。
事務局	明確な要因はわからない。令和３年度に比べて直搬件数が２１１件、重量にして６４ｔ増加している。内訳として、コンクリート類及び土砂類が多い。
委員	【資料１－１】「令和４年度総括表」について、焼却場資源物の「発電に寄与したごみ」の重量について、宇部市焼却場の発電量から計算した数字として考えてよいか。
事務局	お見込みのとおりである。焼却場の総発電量をごみの発熱量で割った数字が「発電に寄与したごみ」の重量である。
会長	【資料１－１】「令和４年度総括表」について、令和４年度から焼却場資源物の飛灰がどのように再資源化できるようになったのか説明してほしい。
事務局	令和４年１０月から焼却場のNo.１集塵機の飛灰について、山元還元方式により再資源化。同時期にNo.２集塵機の飛灰をセメント原料として再資源化できるようになった。
会長	では、次に議題（２）「令和４年度の事業報告について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料２】「令和４年度の事業報告について」説明
委員	「６．食品ロス削減の取組み」のフードバンク事業における食品回収ポストに不適合物が出される問題について、ポストの店舗内設置場所変更や、ポストに表示してある文言等を工夫することで防止できると考えるがいかがか。
事務局	フードバンク事業は、開始して約４年経過している。設置店舗の都合で当初のフードバンクポストの設置場所が変わることもある。現在の宇部市内のポストの設置状況やポストの表示物の確認を行い、NPO 法人フードバンク山口との連携事業でもあるので相談しながら検討していきたい。
委員	「６．食品ロス削減の取組み」に関連して、以前、小中学校の給食の食べ残しが非常に多いということを知った。毎日のこととなれば大量の食品ロスが出ているということになるが、状況を把握されているか。
事務局	現在、具体的な数字を含めた情報は持ち合わせていない。給食の食べ残しについては、食品リサイクル法により飼料化されていると認識しているが、学校給食課に状況を確認してみたい。
委員	宇部市の指定ごみ袋について、購入時に商品を包装している一番外側の外袋を一枚の指定ごみ袋として使えるようになれば、少しでもプラスチックごみの削減につながると考えるがいかがか。
事務局	今後、指定ごみ袋の製造会社と話をする機会があれば、外袋に指定ごみ袋を採用できないか提案していきたい。
会長	「３．収集ごみ組成調査」において、２日ほど調査を実施されているが、調査されたごみの量はどれくらいでどのように実施したのか。
事務局	１日あたり約２００～３００kgのごみの量を集めて調査を実施した。焼却場のダンピン

	グボックスにごみを広げて偏りがないように混ぜてから、組成調査を実施した。調査は、業者に委託している。
会長	大変な調査であるが、貴重なデータであり、収集ごみだけでなく、直搬ごみ対策にも有用なデータになると思う。議題（１）において、直搬ごみ排出量がコロナ禍後横ばいで推移していることから、今後の推移について見守っていく必要があるという説明があった。収集ごみ組成データの活用がそこにつながっていけば良いと思う。
会長	では、次に議題（３）「令和５年度の主な事業について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料３】「令和５年度の主な事業について」説明
会長	「１．ペットボトル水平リサイクル可能性調査」について、調査項目として「不適物処理量の比較」とあるが、今回の調査後に数値がデータとしてあがってくるのか。
事務局	不適物処理量について、現在の工程では約１割が不適物と聞いている。今回の調査では、現在実施しているラベルやキャップ付きのペットボトルの除去作業を行わずに引き渡し可能であることから、量の比較は可能と思っている。
会長	今回の調査ではラベルやキャップ付きのペットボトルの除去作業を行わずに業者に引き渡すのか。
事務局	そのとおりである。ただし、シャンプーボトルなどのペットボトル以外を除去する「異物除去」と呼ばれる工程は実施する必要があるため、収集したものをそのまま引き渡すことはできないが、作業工程の効率化が見込まれる。
会長	事務局の説明によると、将来的にはラベルとキャップの取り外しをせずに、ペットボトルのごみ出しが可能になるという捉え方もできる。今後、ペットボトルをどのようにリサイクルするかは、ペットボトルを直接ごみ出しする市民の方にも関わってくる内容と思われるので、しっかりとした検証をお願いします。
会長	「２．資源ごみ拠点回収施設で家庭用シュレッダー紙の回収を開始」について、市からどのように市民の方へ周知したのか。
事務局	自治会の班回覧の際に、同事業開始を掲載した広報誌「ミラクル」を一緒に回覧させていただいた。また、SNSで何度か発信させていただき、地元の説明会等で紹介させていただいている。
会長	では、次に議題（４）「その他」、事務局から何かあるか。
事務局	１．指定ごみ袋制度の見直し・ごみの有料化の経過報告について ごみの有料化については、新たな動きはないが、委員改選後、詳細説明を行っておらず、久々の対面による審議会の開催のため、これまでの経過を時系列で説明。 ２．宇部市次期ごみ処理施設のあり方検討委員会の開催状況について 令和４年１０月に第１回を開催、これまでの開催状況と今後の予定を説明。
会長	宇部市次期ごみ処理施設のあり方検討委員会について、存在については皆さんご存知と思うが、検討委員会を立ち上げた経緯について説明していただきたい。
事務局	現行の焼却施設が老朽化しており、１０ヵ年ほど延命化する工事を実施中である。従って、１１年目から次期焼却施設を供用開始することとなるが、次期施設の建設期間が約４年かかることから、今後６年以内に次期施設の建設に着手する必要がある。

	次期施設の建設にあたって、どれくらいの規模にするべきか、ごみ排出量も減少傾向である中で、カーボンニュートラルに寄与する最適なごみ処理の方式等、現状を整理した上で課題を抽出していく必要があり、検討委員会を立ち上げることとなった。検討委員会が出た意見を基に、来年度以降、基本計画を策定し、次期施設建設につなげていきたい。
会長	他に委員から何かあるか。
委員	特にない
会長	それでは、以上で審議会を終了する。